

令和7年度 清滝小学校 学校経営方針

学校教育目標

「ふるさとを愛し 未来を切り拓く子の育成」

～ 肯定的な関わりの中から 非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに ～

<めざす児童像>

- ・めあてに向けて挑戦し、粘り強く取り組む子
- ・ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを語ることができる子
- ・思いやりの心と感謝を持ち、共に高め合う子
- ・健やかな体と強い心を持ち、最後までやり抜く子

<めざす学校像>

- ・常に前向きで、生き生きと活気に満ちた学校
- ・子どもたち一人ひとりを大切にし、心の居場所がある学校
- ・保護者・地域と共に歩み、開かれた信頼される学校

<めざす教職員像>

- ・分かる喜びと学ぶ楽しさのある魅力ある授業づくり・学級づくりができる教職員
- ・子どもに寄り添い、喜びや悲しみを共有できる教職員
- ・自主性、同僚性、協働性を大切にし、チーム清滝として高め合う教職員

《重点実践事項》

(1) 非認知能力の向上

- ・夢や目標を持ち、自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながる力を高める。
- ・人権教育、児童会活動、体験活動を充実させ、思いやりや感謝の気持ちを育む。
- ・基本的な生活習慣の確立に向け、自律する力を育み家庭との連携を強化する。

(2) ふるさと教育の充実と地域との連携

- ・体験活動や地域との交流を通して、ふるさとの良さを知り、ふるさとを誇りに思う気持ちを育む。
- ・コミュニティスクールをはじめ、地域との連携を強化し、地域と共にある学校づくりを推進する。
- ・オープンスクール、各種通信、ホームページなど積極的に情報発信を行う。

(3) 特別支援教育の充実

- ・「支援のいない子は一人もない」を基本理念として、子どもへの寄り添いの質を高める。
- ・子どもの教育的ニーズに応じた支援体制を図ると共に、関係機関との連携を推進する。

(4) 教職員の専門性の向上

- ・授業における5つの「徹底・継続」実践事項の深化を図り、深い学びに向けた授業づくりを推進する。
- ・校内研修を活性化させ、教職員同士が主体的に学び、高め合う教職員集団を組織する。

(5) 働きがいのある職場づくり

- ・全教職員で子どもを育てる意識を高め、子どもの成長を喜び合える職場づくりを行う。
- ・子どもと向き合う時間を確保し、ワーク・ライフバランスを意識した職場環境づくりを行う。